



3月議会はじまる!

今月の21日(月)から3月議会がはじまりました。4年任期のうちの半分が過ぎて、新しい議長が選任され、各常任委員会の委員長も代わりました。

僕は4年間いた建設常任委員会から、久しぶりに文教生活常任委員会の委員(副委員長)になりました。「教育」関係の委員会ですから、とても充実した2年間になりそうです。

子ども達の為に「頑張る学校」「頑張る先生」を応援していきたいと思います。

75億!!

2月15日の定例記者会見で並木市長は20年10月に行った財政非常事態宣言を本年度末で解除する方針を明らかにしました。

新座市の財政調整基金(市の貯金)は21年4月に12億と県内63市町村の中で最下位となっていました。20・21年度で計170の事業を見直し、約22億を削減していました。

新座市は”新型コロナウイルス感染症による税収の大幅な減少が見込まれる”と財政非常事態宣言をしたのですが、実際には共産党の指摘通り、市税収入は減らず、国からの補助金も大幅に上回った結果、今年度末の財調は75億円に上る見通しとなったのです。

75億ですよ!だから言ったんです。「財政非常事態宣言は、はやく解除したほうがいい!」と。

令和4年の予算案では復活した事業もありますが、18歳までの医療費無料化や障がい者手当など、削減されたままのものも多くあります。



2022年2月28日発行



今年最初の黒目川の川掃除は初めて堀の内橋まで行きTVを拾って来ました。

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや
新宿区立西戸山中、
石神井高、北海道大
庭球部卒。(中高大
とテニスしかやって
いない。)そして、小
中高大と超問題児だ

った。そんな僕を愛してくれたのが西戸山小の向後美佐子、西戸山中の河合隆慶、そして石神井高の川島正雄、古川溥先生
僕は今もこの先生達から頂いた「愛」の力で生きている。そして、その「愛」は僕から僕の子ども達へと受け継がれている。

21年間、新座市立第五・第六・第二中学校にいたが、昔の自分よりも問題のある子を見たことがない。

僕の先生達は「先生目」を持っていたのだ。それは子ども達の可能性を見ることができる目である。

写真はこの4月から早大1年生になる娘の野々花。五中10期生の愛子の二女。勿論、「たかやん塾」の卒業生。



RCEP協定が1月1日に発行！

経済産業省のHPを読むと……。

「地域的な包括的経済連携RCEP協定の発効要件が満たされ、我が国及び寄託を終えたオーストラリア、ブルネイ、カンボジア、中国、ラオス、ニュージーランド、シンガポール、タイ、ベトナムの9か国について、2022年1月1日(土曜日)にRCEP協定が発効することとなります。」と書いてあります。(韓国は2月1日)

これが何を意味するかというと、今後はこれらの国から「人」「金」「物」が自由に入りしてくるということです。要するに中国を含むこれらの外国から、労働者が無制限にやって来るということです。

これは日本という国を劇的に変化させる可能性があります。「安い労働力」が来るなどと喜んでいる場合ではありません。

「安い農作物」は勿論、巨大な資本がいつの間にか日本の企業を買収したり、土地や水源を買い占めたりもするでしょう。「一帯一路」政策を世界中ですすめている中国の影響が増していくことは確かです。

気がついたら、外国人だらけの市や町ができる可能性も否定できません。

喜ぶのはグローバル企業をはじめとする労働力不足の企業ですが、若い人をはじめとする日本人全体の賃金が下がることも覚悟していないといけません。

公立の学校にも大きな影響が出てくるでしょう。コロナが収束しても、RCEPの影響はこれからです。僕は海外の友達も多く、息子も海外にお世話になっているので、全否定する積りはありません。

でも、間違った移民政策で大きな問題を抱えているヨーロッパを見ていると、無制限の外国人の流入には賛成できません。

宮崎の日章学園九州国際高校のように中国の子が9割、日本の子が1割しかない。そんな学校が今でさえ存在しているのですから……。2022年1月1日に発行されたRCEPのこと、みなさんと一緒に考えていきたいと思っています。



先生の日

あなたのクラスに不登校の子がいます。学校に来るのが当たり前で、それが「正しいこと」だと思っている貴方には不登校の理由は「家庭」にあると思ひ込みたいし、その子の資質の問題だと思ひたい。

そう思えば貴方には責任がないし、何もすることがない……そう思えるからです。

きっと、来年は「自分のクラス」じゃないだろうし、下手をすると「無事」に卒業しているかも知れませんか……。

確かに「不登校」は貴方のせいじゃないし、担任の力なんて限られているかも知れない。

でもね、貴方だけは、その子の「可能性」を信じて欲しいんです。不登校の子は勿論、学校に来ている全ての子の「可能性」を諦めないで欲しい。

その見えにくい「可能性」を見ようとするのが「先生の日」です。

どんなに忙しくても、家庭でどんなに嫌なことがあっても……子ども達には頼れるのが「貴方しかないとき」があります。その子の心の問題が「家庭」にあるとき、「クラス」にあるとき、「部活」にあるとき、「進学」にあるとき、「恋愛」にあるとき、子ども達は「貴方に助けを求める」のです。

あの時、貴方が「先生の日」で子ども達を見ることができていたら、多くの子ども達は死ななくて済んだかも知れない。前を見て歩けたかも知れない。笑顔になれたかも知れないのです。

「学校のきまり」とか「約束」だとか、そんな目に見えるものじゃあなくて、子ども達の可能性を大切にしてください。それを見ようとする「先生の日」を大切にしてください。どんなに業務が多忙でも、残業代が0でも……あなたに「先生の日」がある限り、あなたには他の職業にはない喜びがある筈です。どんなに体が疲れても、「先生の日」だけはどうか持ち続けてください。それがあつ限り、子ども達も貴方も「幸せ」でいられるはずですよ。

たかやん 

